

NTTグループ弓道連盟 全国弓道大会実施要綱補足資料(運用細則)

1. 団体戦の選手変更・交代について

(1) 監督会議における変更

- ① 登録した選手の変更は、原則として補欠登録選手との「選手交代」に限り認める。
(この場合、実施要綱に基づき、交代した選手は出場できない。)
- ② 登録した選手の大会不参加等による「選手変更」を要する場合は、補欠登録選手以外からの補充も可とする。
- ③ 実施要綱に基づき、立順の変更は認めない。

(2) 大会実施当日の変更

- ① 当日の選手交代は原則出来ない(監督会議での申し出に限る)。
ただし、体調不良や急な仕事等やむを得ない事態が発生した場合、監督が競技委員長に申告し、認可を受けること。
- ② 当該チームの2回目の立以降、上記理由や出場選手の調子が悪いことによる選手交代は認める。
実施要綱に基づき、監督が競技委員長に申告し、認可を受けること。

2. 団体戦における行射時間・予備矢について

- ① 5人団体戦における行射時間を8分以内とする。
時間経過の通知として7分経過時に予鈴音、8分経過時に終了音を鳴動する。
8分を超えたことで失格とはしないが、著しく時間が超過する懸念が見込まれた場合には、競技中であっても、選手に対して進行委員等より注意する場合がある。
- ② 同中競射に際して、矢返しを実施しない。
団体戦出場選手は予備矢2本を用意のこと。

3. 間合いについて(団体戦)

- ① 団体の部については、前の人の「会」で打起しとする。
- ② 各射場の1番の選手は、行射後間を置かず矢番えて直ぐ立つ
間合いについて遵守できていない場合、競技中であっても進行委員等より注意する場合がある。

4. 個人戦の順位決定について

各部順位決定にあたっては、原則下位から順位を決定していくが、進行の都合上、複数射場を用い、並行して順位決定する場合もある。

以上